

事業名	平成 30 年度「能登・祭りの環」インターンシップ事業	
活動 形 態	活動場所	①穴水町沖波／②能登町矢波／③輪島市門前町／④珠洲市栗津／⑤珠洲市馬縹
	活動人数	<p>①穴水町「沖波大漁祭り」：63名（金沢大学7名、石川県立看護大学8名、金沢星稜大学45名、金沢工業大学1名、北陸学院大学1名、放送大学1名）</p> <p>②能登町「矢波諏訪祭」：19名（金沢大学3名、石川県立看護大学9名、金沢星稜大学4名、金沢工業大学2名、北陸大学1名）</p> <p>③輪島市「黒島天領祭」：43名（金沢大学14名、石川県立大学1名、石川県立看護大学2名、金沢星稜大学11名、金沢工業大学10名、北陸大学4名、放送大学1名）</p> <p>④珠洲市「栗津の秋祭り」：23名（金沢大学3名、石川県立大学14名、石川県立看護大学2名、金沢星稜大学2名、金沢工業大学1名、北陸大学1名）</p> <p>⑤珠洲市「馬縹の秋祭り」：12名（金沢大学5名、石川県立大学1名、金沢星稜大学2名、金沢工業大学2名、金沢学院大学1名、放送大学1名）</p> <p>※短期もしくは長期インターンのみの参加：4名（金沢大学1名、石川県立大学2名、公立小松大学1名）</p> <p style="text-align: right;">【計 164 名】</p>
活動内容	<p>平成 23 年度から「能登・祭りの環プロジェクト」として、少子高齢化等により担い手が不足する能登の伝統文化である「祭り」に、学生達が参加をすることでその開催を支援してきており、平成 28 年度からは「『能登・祭りの環』インターンシップ事業」として、能登の伝統文化である祭りへの参画を地域へのインターンシップと位置付け、今年度は、祭り当日のみ参加する「当日インターンシップ」、祭りの開催前に地域を訪れ、祭りの歴史や太鼓の叩き方等を学ぶ「短期インターンシップ」、祭りの参加に加えて、地域へのヒアリング調査や学生参加のためのマニュアル整備を通じて、地域が学生を受け入れるための工夫や課題を把握し対応策を実践する「長期インターンシップ」の3つの取組を実施した。</p> <p>なお、事業の実施は「能登キャンパス構想推進協議会」の構成機関それぞれの担当で構成された「『能登・祭りの環』インターンシップ事業実行委員会」が行った。</p> <p>1. 当日・短期インターンシップ</p> <p>①穴水町：沖波大漁祭り【8月14日～15日】</p> <p>当日は、金沢大学7名、石川県立看護大学8名、金沢星稜大学45名、金沢工業大学1名、北陸学院大学1名、放送大学1名の計63名の学生と、金沢星稜大学の教職員2名が参加した。</p> <p>短期では、8月5日、13日に金沢星稜大学の学生9名が倉庫からのキリコ出し、キリコの組立作業に参加した。</p> <p>②能登町：矢波諏訪祭【8月15日～16日】</p> <p>金沢大学3名、県立看護大学9名、金沢星稜大学4名、金沢工業大学2名、北陸大学1名の計19名の学生と、石川県立看護大学、金沢星稜大学の教職員2名が</p>	

参加した。

③輪島市：黒島天領祭【8月17日～18日】

当日は、金沢大学14名、石川県立大学1名、石川県立看護大学2名、金沢星稜大学11名、金沢工業大学10名、北陸大学4名、放送大学1名の計43名の学生と、金沢大学、金沢星稜大学の教職員4名が参加した。

短期では、金沢大学、北陸大学の留学生2名と教職員2名が、8月6日に黒島天領祭の祭礼実行委員の方々を訪問し、黒島の歴史と現状、祭りの由緒などについて教えていただき、太鼓保存会の方々から天領祭での太鼓の叩き方を学んだ。

④珠洲市：粟津の秋祭り【9月12日～13日】

当日は、金沢大学3名、石川県立大学14名、石川県立看護大学2名、金沢星稜大学2名、金沢工業大学1名、北陸大学1名の計23名の学生と、石川県立大学と金沢星稜大学の教職員5名が参加した。

短期では、石川県立大学、金沢大学の学生15名と教職員3名が参加し、7月21日に粟津自彊団の濱山団長ら3名に石川県立大学までお越しいただき、学生と教職員に対し、太鼓の叩き方をご指導いただいたほか、8月19日には学生と教職員が珠洲市粟津を訪問し、再度太鼓の叩き方をご指導いただいた。

⑤珠洲市：馬縵の秋祭り【10月13日～14日】

当日は、金沢大学5名、石川県立大学1名、金沢星稜大学2名、金沢工業大学2名、金沢学院大学1名、放送大学1名の計12名の学生と、金沢星稜大学の教職員1名が参加した。

2. 長期インターンシップ

金沢大学1名、石川県立大学1名、金沢星稜大学生1名、金沢学院大学1名、公立小松大学1名の計5名の学生が参加した。活動では、地域が学生を受け入れるための工夫・課題を把握し、馬縵の秋祭りで実際に取り組むことを目標に、事前に複数回地域を訪問し、地域の方と交流を行ったほか、これまで学生受け入れ経験のある4つの祭りの責任者にヒアリング調査を実施し、工夫や課題を聞き取り、参加学生向けのマニュアルを作成した。

祭り当日は、祭りに参加する上での注意事項を学生目線で当日参加の学生に伝えたほか、学生同士の交流を促すためのレクリエーション等を行った。その後、ヒアリング調査の取りまとめや、参加学生の事後アンケートの実施などを通して、学生が祭りに参加する上で必要となる取り組みについて検討・提案した。